

ごみ処理方式選定にかかる評価の考え方

「◎」・「○」・「△」の3段階評価

大項目	中項目	小項目	評価	評価の考え方
安定性・安全性	安定稼働	1 ごみ質・量の変動への対応	定性	ごみ質やごみ量の変動に幅広い対応ができるか否か。 評価 幅広い対応ができる：◎ 一定の対応ができる：○ 対応ができない：△
		2 運転管理の難度	定性	専門技術が必要か。また、運転管理は容易か否か。 評価 専門技術は必要なく、運転管理は容易：◎ 専門技術は必要であるが、運転管理は概ね容易：○ 専門技術が必要であり、運転管理は難しい：△
		3 システムの構成	定性	他方式と比較して、主要機器の構成が簡素か否か。 評価 主要機器の構成が簡素：◎ 主要機器の構成は中程度：○ 主要機器の構成が複雑：△
		4 安定稼働の実績	定量	焼却施設は、一系列あたり90日 [※] 以上の連続安定運転、メタン発酵施設は、一系列あたり1年 [※] 以上の作業計画日に安定運転した実績があるか否か。 ※「廃棄物処理施設整備国庫補助事業に係るごみ処理施設性能指針」（環境省 平成20年3月31日） 評価 焼却施設140日以上、メタン発酵施設1年半以上実績あり：◎ 焼却施設90日以上、メタン発酵施設1年以上実績あり：○ 焼却施設90日未満、メタン発酵施設1年未満：△
	安全性	5 非常時及び防災面への対応	定性	非常時・災害時を想定した対応策や施設を安全に停止することが期待できるか否か。 評価 他方式と比較して多様な対応策があり、安全な停止が期待できる：◎ 他方式と比較して標準的である：○ 一部不安有：△
		6 事故・トラブル事例及び労働安全衛生	定性	近年において、炉の性能に起因する人的被害や処理停止等に関する事故・トラブル事例、また作業環境が悪化した事例があるか否か。 評価 人的被害や一定期間の停止等に関する事故・トラブル事例または作業環境が悪化した事例はほぼない：◎ 処理の不具合等が発生した事例はあるが、人的被害や一定期間停止する重大な事故はない：○ 人的被害や長期間にわたり停止する重大な事故・トラブル事例または作業環境が悪化した事例がある：△
経済性	建設	7 建設費	定量	他方式と比較して、建設費が低いかな否か。 評価 5方式の平均よりも低い：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも高い：△
	運転管理	8 運転・維持管理費	定量	他方式と比較して、運転管理・維持管理費が低いかな否か。 評価 5方式の平均よりも低い：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも高い：△
		9 最終処分に要する費用	定量	他方式と比較して、最終処分に要する費用が低いかな否か。 評価 5方式の平均よりも低い：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも高い：△
	付帯収入	10 売電収入	定量	他方式と比較して、売電収入が多いかな否か。 評価 5方式の平均よりも多い：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも少ない：△
環境性	資源化	11 物質回収及び焼却残渣の資源化	定性	物質回収及び焼却残渣の資源化が期待できるか否か。 評価 大いに期待できる：◎ 期待できる：○ 期待できない：△
		12 エネルギー回収量	定量	他方式と比較して、施設から回収するエネルギー量の合計が多いかな否か。 評価 5方式の平均よりも多い：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも少ない：△
	最終処分負荷	13 最終処分量	定量	他方式と比較して、最終処分量が少ないかな否か。 評価 5方式の平均よりも少ない：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも多い：△
	公害防止性能	14 公害防止基準	定量	建設費や運転管理費を増加させることなく、公害防止基準を上回ることができるか否か。 評価 上回ることができる：◎ 同等：○ 上回ることができない：△
		15 排ガス量	定量	他方式と比較して、排ガス量が少ないかな否か。 評価 5方式の平均よりも少ない：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも多い：△
	温暖化負荷	16 温室効果ガス発生量	定量	他方式と比較して、温室効果ガス発生量が少ないかな否か。 評価 5方式の平均よりも少ない：◎ 5方式の概ね平均：○ 5方式の平均よりも多い：△

6と16はプラントメーカーからのアンケート調査対象外